

平成21年12月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 菅 原 博 文

市 民 ク ラ ブ 齊 藤 勝

フ ォ ー ラ ム 2 1 人 見 高 司

社 会 ・ 市 民 連 合 藤 田 正 義

公 明 党 成 沢 淳 子

市 民 の み か た 佐 藤 哲 治

秋 水 会 小 野 寺 誠

秋 水 会 齊 藤 善 悦

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

1 市長の政治姿勢について

- (1) 政府の行政刷新会議における事業仕分けについて、首長としてどのように評価しているのか
- (2) 新年度における重点施策について
- (3) 市長が掲げる重点施策の実現に向けて、どのように機構改革を進めるのか
- (4) 市長は、にぎわいのあるまちづくりを進めるためには、すぐれた企画力を持つ人材の育成にも力を注がなければならないとの見解を示しているが、具体的にどのように取り組んでいくのか
- (5) 公共事業について
 - ア 現政権が公共事業費を大幅に削減する方針を示していることについて、どのように認識しているのか
 - イ 地域の雇用を支える観点から、本市における公共事業をどのように進めていくのか

2 防災について

- (1) (仮称)総合防災センターの建設計画の進捗状況と計画内容について
- (2) 竜巻注意情報について
 - ア 10月30日に竜巻注意情報が発表された際、本市にはどのように情報が入り、どう対応したのか
 - イ 竜巻注意情報に対する今後の対応について

3 秋田県・市町村協働政策会議について

- (1) 秋田県・市町村協働政策会議の目的について
- (2) 機能合体の対象となる事務事業について
- (3) 本市にとってのメリットと今後の方向性について

4 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) (仮称)秋田市にぎわい交流館の整備を進めるに当たり、幅広く情報を公開し、市民の期待感を膨らませることができるよう取り組むべきではないか

5 大森山動物園と大森山自然動物公園(仮称)基本構想について

- (1) 7月に実施したアンケートの結果を踏まえ、大森山自然動物公園(仮称)のあり方をどのように考えているのか
- (2) 資源循環システムと新エネルギーの導入について
- (3) 入園料の改定について

6 観光政策について

- (1) 本市の特色を生かした観光政策を推進すべきと考えるが、美の旅あきた観光圏及び観光事業における県と市町村の機能合体に向けた取り組みに対する認識はどうか
- (2) 東北新幹線新青森駅開業を見据えた新たな観光施策を展開すべきではないか
- (3) 竿燈を他都市に派遣し、あわせて産直物産展を開催するなど、竿燈まつりを核とした観光誘客に取り組むべきではないか
- (4) 閉庁日に本庁の駐車場を開放してイベント等を開催することにより、にぎわい創出を図るべきではないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 平成22年度の予算編成に当たり政権交代の影響をどのようにとらえているのか
- (2) 副市長人事について
 - ア 財政状況が厳しさを増す中で、副市長二人制の必要性について
 - イ 民間からの外部登用について
- (3) 市長が目指す市民協働のイメージはどのようなものか、また、具体的にどのように取り組み、市民に浸透させていくのか
- (4) 家庭系ごみの有料化について
 - ア 家庭系ごみの有料化に対する市長の見解について
 - イ 具体的なスケジュールについて
 - ウ 得られた収入の用途を含め、市民の理解をどのように得ていくのか

2 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 権利変換計画について、現在、どのくらいの地権者の同意を得られているのか、また、予定どおり年度内に認可される見込みなのか
- (2) 本事業を進めるためには、国からの補助金が必要不可欠であるが、その見通しはどうか
- (3) 商業施設に入居するテナントの見通しについて
- (4) 商業施設のテナントがスーパー、ドラッグストア、秋田の特産品などとされているが、秋田駅前の他の商業施設と業種が重複することをどのように認識しているのか、また、これで新たな人の流れを呼び込めると考えているのか

3 秋田駅 - 土崎駅間の新駅設置について

- (1) 新駅設置の実現性及び課題について

(2) 現在の進捗状況について

(3) 具体的なスケジュールを含めた、今後の取り組みについて

4 地域における行政サービスについて

(1) 住民要望にこたえ、外旭川地域センターを残し、職員を常駐させる
考えはないのか

(2) 外旭川地域センターにおける戸籍等の即日交付について

ア 新たに戸籍等の即日交付を開始する場合、導入費用はどのくらい
か、また、人件費を含めたランニングコストはどのくらいか増
しになるのか

イ どのような分析を行った結果、費用対効果がないと判断したのか

ウ 住民要望が高い中で、外旭川地域センターにおける戸籍等の即日
交付を検討する考えはないのか

5 子育て支援について

(1) 赤ちゃんの駅の設置について、具体的に検討する考えはないか

(2) 保育所の園庭芝生化に取り組む考えはないか

6 農商工連携について

(1) 本市における農商工連携の状況について

(2) 農商工連携促進に向けた本市の具体的な取り組みと今後の対応につ
いて

(3) 直売所の目指す方向性をどのように考えているのか

7 斎場へのアクセス道路について

(1) 交差点を改善し、市道斎場線の道路幅員を広げるとしているが、具
体的な整備計画はどうか

(2) 土地の権利関係が複雑で、多少時間を要するとしても、横山金足線
から住宅街に入る手前に斎場への新たなアクセス道路をつくることは

検討できないのか

1 人口減少社会において予測される変化への対応について

(1) 行財政運営方針の転換について

ア 長期的な財政推計をつくり、政策体系の優先順位を総合計画の中に組み込み、歳入と連動するような予算づけをすべきではないか、例えば、新庁舎、市民サービスセンター、中央公民館の建設の是非、市立秋田総合病院と他の総合病院との統合、上下水道事業の民営化等も視野に入れ、検討すべきではないか

イ 厳しい財政状況について市民と認識を共有しながら、総合計画を策定すべきではないか

ウ 本市公共施設における、更新投資、維持改良費の中長期的見通しはどうか

エ 中長期的な公共サービス水準を設定すべきではないか

オ 確実に到来する地方分権への対応について

(ア) 職員の企画立案・執行能力の強化について

(イ) 主体的・能動的な業務遂行能力の強化について

(ウ) 日常業務の見直しについて

(2) 超高齢社会について

ア 孤独死への対策について

(3) 市民協働について

ア 町内会組織の実態把握と支援について

イ 縦割りの住民組織の統廃合、効率化を促進すべきではないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 副市長が1人である状態が4カ月以上続いており、後任人事が決まらないのは異常なことであると思うがどうか
- (2) 新庁舎建設問題では、建てかえか補強かの議論が先行しているが、将来の行政のありようや、市役所のあるべき姿をどう考えているのか

2 地方分権改革と税財政について

- (1) 地方分権改革推進委員会が出した、これまでの勧告に対する認識について
- (2) 地方分権改革推進委員会の最終勧告では、地方消費税の拡充が盛り込まれているが、このことに対する認識はどうか
- (3) 県が行う事業に対する本市の負担金について
 - ア 県の求めにより本市が支払った、平成18年度から20年度までの負担金はそれぞれどのくらいか
 - イ 負担金の内容はどのようなものか
 - ウ 負担金に対する認識について
- (4) 自主財源確保の取り組みの現状と課題について
- (5) ふるさと納税は基金として積み立て、市民の目に見える形で事業に活用してはどうか

3 市町合併の評価について

- (1) 秋田市・河辺町・雄和町の合併について、どう評価しているのか

4 経済・雇用問題について

- (1) 雇用をめぐる状況と緊急経済・雇用対策の効果について
- (2) 子供の貧困が問題になっているが、就学援助制度における対応はどうか

- (3) 指定管理者を公募する際に、就業規則や賃金規程を求めるべきではないか

5 まちづくりについて

- (1) 秋田市中心市街地活性化基本計画について、経済と雇用の悪化、人口減、税収減など取り巻く環境に変化があり、目標達成に対して不安要素が醸成されてきているのではないか
- (2) (仮称)秋田市にぎわい交流館に既存文化会館のホール以外の機能に移転させ、集客に期待を寄せているが、周辺に類似施設があり、見込みに無理があるのではないか
- (3) 文化会館に暫定的に移転する予定のサンパル秋田について、最終的にはどのようにするのか
- (4) 歩行者や自転車にやさしい交通環境の整備について
- (5) 不採算バス路線の廃止に伴う郊外部における代替交通導入後の問題点についてどのように改善を図ったのか、また、利便性の向上に向け、今後どう対応していくのか
- (6) マイタウン・バスの乗車率の向上を図るため、低料金化を考えてはどうか

6 環境問題について

- (1) 地球温暖化が問題になっているが、本市における環境への影響について
- (2) 家庭系ごみの有料化の前に、ごみ出しルールの徹底とごみの分別収集を粘り強く進めることが大事ではないか
- (3) 行政主導で市民総参加によるマイバッグ運動を展開してはどうか

7 食育と学校給食への地元農産物の供給拡大について

- (1) 学校における食育について
- (2) 学校給食への地元農産物の供給がなかなか進まない原因とその対策

について

8 木材の活用などについて

- (1) 公共施設の建設、補強・補修への積極的な木材の活用について
- (2) 間伐の一層の推進について
- (3) 松くい虫、ナラ枯れの被害現状と対策について

9 校務用パソコンの配備について

- (1) 小中学校の校務用パソコンの配備状況はどうか、また、今後の配備計画はどうなっているのか

10 消防団員の処遇改善について

- (1) 20歳代の消防団員は10%にも達していない現状にあり、若い世代の団員をふやすためには、任務の重大性や危険度から見て処遇を改善すべきではないか

11 古い消火器の取り扱いについて

- (1) 消火器の破裂事故が相次いでおり、古くなった消火器の中身の取りかえや容器の点検など、十分に行われていないようであるが、どのような行政指導がなされているのか

12 お堀の水質について

- (1) 千秋公園のお堀の水質向上について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 平成22年度予算編成に当たり、市長公約をどのように反映するのか、また、最重点と位置づけている政策は何か
- (2) 政権交代による市政への影響について
 - ア 国の平成21年度第1次補正予算の見直しによる関連事業への影響について
 - イ 2010年度税制改正による市政及び市民への影響について
- (3) 市町合併に対する市長の見解はどうか、また、住民意識の一体感をより一層確立するための施策が必要ではないか
- (4) 陸・海・空の交通基盤の連携により地域経済活性化が図られる施策を進めていくべきではないか

2 国の事業仕分けの評価結果が及ぼす影響について

- (1) 秋田港整備事業への影響について
- (2) 農業集落排水事業への影響について
- (3) 里山エリア再生交付金事業への影響について
- (4) 道路整備事業への影響について
- (5) 河川改修計画への影響について
- (6) 中通一丁目地区市街地再開発事業への影響について

3 行政改革について

- (1) 市民の利便性向上について
 - ア コンビニエンスストアでの市税収納の検討状況と課題について
 - イ コンビニエンスストアと連携した市民サービスの向上について
- (2) 部局の人事権限の強化及び決裁権限の見直しや組織のフラット化について、その進捗状況と今後の方針はどうか

4 子育て支援について

- (1) 保育所入所における審査基準の見直しについて
- (2) 保育所における看護師の配置について
- (3) 県が実施している子育て家庭優待事業との連携について
- (4) ファミリー・サポート・センターの運営状況はどうか、また、新規事業展開を検討すべきではないか

5 健康長寿社会への取り組みについて

- (1) がん検診受診率の向上対策について
 - ア 本市における各種がん検診受診率の推移はどうか、また、受診率50%を目指し、今後どのように取り組むのか
 - イ 胃がんと大腸がん検診の無料化について
- (2) 国民健康保険加入者の健康増進について
 - ア これまでの特定健康診査事業の実施状況と、受診率アップに向けた取り組みについて
 - イ 多くの人々が人間ドックを受診できるよう募集定員の拡大を検討すべきではないか

6 教育問題について

- (1) 教員の多忙化を解消し、教育現場を支援していくための機関の設置について
- (2) 新学習指導要領の実施に向けた取り組みについて
 - ア 体験活動の充実に向けた取り組みについて
 - イ 中学校において武道の授業を実施するに当たり、安全かつ円滑に行われるための取り組みについて
- (3) 小中学校の統廃合の現状と今後の見通しについて
- (4) 御所野学院の今後のあり方について
 - ア 御所野学院検討委員会における検討内容について

7 北部地域の諸問題について

(1) (仮称)北部市民サービスセンターの設置に伴う周辺環境整備について

ア 臨海鉄道踏切の拡幅整備について

イ 市民サービスセンターを経由したバス運行について

(2) 土崎駅管内における飯田踏切及び支所踏切の安全対策について

(3) 史跡秋田城跡の活用について

ア (仮称)秋田城跡歴史資料館の建設計画について

イ 観光資源と位置づけて史跡全体の整備を進めるべきではないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 市長公約について

ア 市長公約の進捗状況はどうか

イ 市長公約の実現に要する総事業費はどれくらいと見込んでいるのか

ウ 市長公約及び第11次秋田市総合計画の方向性を踏まえた、新たな総合計画の策定に向けた取り組み状況はどうか

(2) 経済雇用対策について

ア 本市の経済雇用情勢に対する現状認識と今後の見通しはどうか

イ これまで実施してきた、ふるさと雇用再生事業及び緊急雇用創出事業について、事業効果は十分あったと認識しているのか

ウ 厳しい雇用情勢が続く中、本市独自に雇用対策の充実を図るべきではないか

(3) 財政上の理由等から、市長、副市長及び教育長の給与や市議会議員の報酬を減額する自治体があるが、このような動きをどう認識しているのか

(4) 市長公用車について

ア 市長就任後、新車を購入する必要はあったのか

イ 市長公用車の使用状況はどうか

2 財政運営について

(1) 市長公約で掲げられた事業について、22年度予算ではどの程度予算措置されるのか

(2) 市長公約の実現に予算を重点配分することにより、他の事業予算にしわ寄せが生じる懸念はないのか

(3) 22年度以降は、景気の悪化等による歳入の減少が見込まれる一方で、市長公約の関連事業や大規模事業の実施等により歳出は大幅にふえる

状況が続くものと想定されるが、財政の健全性は確保されるのか

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 総事業費について、これまでの約159億円という見込みに変わりはないのか
- (2) 権利変換計画の進捗状況はどうか
- (3) 他都市の中心市街地活性化の状況をどのように認識しているのか
- (4) 居住施設は高層マンションとなる計画であるが、景観上問題はないのか、また、事業予定地周辺のマンションの販売動向から、需要はまだあると判断しているのか
- (5) 本事業が失敗した場合、だれが責任をとるのか

4 指定管理者制度について

- (1) 指定管理者制度導入に対する本市の基本的な考え方について
- (2) 商工部及び都市整備部の指定管理者選定委員会の外部委員は、どのような基準に基づいて選考されているのか
- (3) 秋田市ポートタワー、秋田港振興センター及び河辺岩見温泉の指定管理者の募集は、地元企業に限定すべきではないか

5 福祉行政について

(1) 保育所について

ア 23年度当初の待機児童解消を目指すとの方針であるが、これまでも認可保育所の増改築による定員拡大や、認定保育施設の認可化等の対策を講じているにもかかわらず解消に至っていない状況を考えれば、その実現性には疑問があるがどうか

イ (仮称)河辺保育所の建設場所を現在地に決定した理由は何か

- (2) 介護保険施設の入所待機者の解消にどのように取り組んでいるのか

6 市立秋田総合病院の経営形態について

- (1) 多額の累積赤字を抱える状況下において、効率的な経営による財政の健全化と自治体病院としての公共性の両立を図るため、地方独立行政法人への移行を進めるべきではないか

7 上下水道について

- (1) 20年度包括外部監査において、水道事業の職員数が過剰との指摘を受けているが、どのように改善を図ったのか
- (2) 過去10年間の漏水件数及び漏水量はどれくらいか、また、その漏水量に現在の平均販売単価を乗じた金額はどれくらいになるのか
- (3) 漏水防止対策にどのように取り組んでいるのか

8 消防について

- (1) 消防団員の定数の充足率の推移はどうか
- (2) 第4回東北水防技術競技大会で最優秀賞を受賞した秋田市消防団の団員を表彰すべきではないか
- (3) 消防団長の任期は4年で再任は妨げないこととなっているが、在任期間が長期にわたっている実態もあることから、再任は1回限りとするべきではないか
- (4) 消防職員の財団法人秋田県消防協会への入会に対する認識はどうか
- (5) 旧河辺雄和地区消防一部事務組合の職員で、市町合併に伴い、給与上不利益をこうむった職員はいないのか

9 市道の未登記部分への対応について

- (1) 市道における未登記部分の実態把握及び解消は進んでいるのか

10 河辺、雄和両市民センターについて

- (1) 両市民センターにおいては、執務スペースに空きスペースが生じているが、その活用方法について、新庁舎建設や市民サービスセンター化を踏まえた上での検討は行われているのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 5年後、10年後の本市の将来像をどのように見据えて、新総合計画の策定に取り組んでいくのか
- (2) 緑あふれる新県都プランについて、地方財政の先行きが不透明な状況となっているが、事業に優先順位をつけるなどの見直しも含め、今後の見通しをどのようにとらえているのか
- (3) 企業誘致による雇用対策、国内外に向けた観光や農産物のPRなど、22年度における市長のトップセールスをどのように展開していくのか
- (4) 農業従事者の高齢化が進行しているが、農業振興のあり方と将来性をどのように認識しているのか、また、都市近郊型農業を目指すとしているが、具体的な考えはどうか

2 農業施策について

- (1) めり張りをつけた予算編成を行い、農業法人や集落営農組織の経営の手助けとなるような事業展開はできないのか
- (2) 農業法人や集落営農組織の経営見通しと対応策はどうか
- (3) 「食と農からのまちづくり」をさらに拡充・進化させていくべきと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか
- (4) 地産他消への取り組みについて
 - ア 地域特産品について、県外におけるPR及び販売にどのように取り組んでいるのか
 - イ 展示会、商談会及び物産フェアなどを積極的に県内外で開催する考えはないのか

3 公園の維持管理について

- (1) 公園愛護協力会の活動内容とその結成数の推移はどうか
- (2) 樹木の管理はどのように行っているのか、また、市民要望に十分対

応できているのか

4 教育行政について

(1) いじめ問題について

ア いじめ問題の現状と対応策について

(2) 学校内の樹木の管理について

ア 学校内の樹木により、日照問題や鳥による被害が発生している箇所があるが、どのように管理しているのか

(3) 小中学校の統廃合に伴う空き校舎等の活用について

ア 空き校舎を社会福祉法人、一般企業、誘致企業、NPO法人等に活用させる考えはないか、また、跡地の活用をどのように考えているのか

5 雇用対策について

(1) 国の基金事業を活用した雇用の創出として、緊急経済・雇用対策事業を実施しているが、雇用期間満了後の対策をどのように講じていくのか

(2) ハローワークとの情報交換及び連携について

6 人事異動について

(1) 自己申告書による異動希望に対する配慮について

7 河辺地域におけるマイタウン・バスの運行について

(1) 岩見三内地区の乗り継ぎ場所について、安全を確保するため、岩見温泉前の市有地に変更できないか

(2) マイタウン・バスのルートについて、秋田赤十字病院及び秋田駅東口方面行きを検討すべきと考えるがどうか

(3) 予約運行を高齢者の利用に配慮し定時定路運行にする考えはないか

(4) 今後のバス路線の廃止の見通しはどうか、また、地方バス路線維持

対策経費及びバス交通総合改善事業経費は、今後どのように推移していく見込みなのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) まちづくりの理念と基本的な考え方について
- (2) エイジフレンドリーシティ構想の今後の取り組みについて
- (3) 市町合併の評価と今後の施策のあり方について
- (4) 市長公約と平成22年度予算編成の考え方について
- (5) 利便性の高い安全・安心なまちづくりにおける、鉄道と市内の各駅との位置づけ及びその整備方針について

2 第11次秋田市総合計画等について

- (1) 19 - 21期計画の進捗状況と成果の見通しについて
- (2) 総合計画の見直しの考え方と課題について
- (3) 新市建設計画「緑あふれる新県都プラン」との関連について
- (4) 秋田市国土利用計画及び秋田市総合都市計画との関連と両計画策定の取り組みについて
- (5) 県との関係について
 - ア 県と市の関係の望むべき方向について
 - イ 「秋田はみんな元気ムラ県民運動」における本市の取り組みについて
 - ウ シーアンドレール構想における本市の役割と課題について

3 産業振興について

- (1) 本市における第132回秋田県種苗交換会開催の成果について
- (2) 農林商工フェア「ジョヤサ'09」によるにぎわい創出の成果と農商工連携の今後の取り組みについて
- (3) 市制120周年記念市民企画イベント「秋だし、あきた市」の成果と、都市と農村、生産者と消費者を結び、農商工連携を推進する部局横断的な取り組みについて

- (4) 農地法改正の考え方と他産業からの農業参入の動向について
- (5) 戸別所得補償制度や農地集積を含めた国の農業政策の動向と本市の
新年度の農業施策について

4 行財政運営について

- (1) 21年度における歳入見込みと22年度の歳入見通しについて
- (2) 中心市街地活性化基本計画のうち、中通一丁目地区市街地再開発事業など地方移管が相当とされた事業の財源確保について
- (3) 地域ごとに充当された合併特例債と今後予定する主な合併特例事業及び国の動向について
- (4) 西部市民サービスセンターの現状と市民協働・都市内地域分権の進捗状況について

5 地域の諸課題について

- (1) 西部市民サービスセンターの検証と課題を含む地域づくり組織のあり方を踏まえた、雄和市民センターにおける市民サービスセンター移行の取り組みについて
- (2) 雄和地域におけるマイタウン・バスの運行見直しについて
- (3) 本田橋かけかえ事業の見通しについて

1 市政経営に対する市長の基本姿勢について

(1) 市長公約について

ア 経済・雇用対策における課題整理と今後の対策について

イ 庁舎整備の方向性に関する検討について

ウ 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学移行への検討状況について

エ 待機児童解消対策における市長公舎活用の検討経緯について

(2) 今後、本市において人口の減少は避けられないものと考えているが、市長はどのような認識でいるのか、また、そのような状況下で、どのような政策を掲げていくのか

(3) 指定管理者制度について

ア 選定及び評価基準の統一化について

2 中心市街地の活性化について

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 本事業と秋田市中心市街地活性化基本計画の基本コンセプトである「千秋公園と連携した城下町ルネッサンス」との整合性について

イ 各施設における設計段階での計画変更について

ウ 国の事業仕分けが本事業に与える影響について

(2) タウンビークルの事業計画について

3 農林業の諸問題について

(1) 国の事業仕分けが本市の農林業の振興にどう影響するのか

(2) 林業振興のための課題と今後の対応について

4 消防行政について

(1) 住宅用火災警報器の設置率に対する認識と今後の普及促進への取り

組みはどうか

(2) 消防救急無線のデジタル化について

ア 整備計画及び消防指令業務の共同運用について

イ 整備に要する費用と財政措置はどうか

5 絆づくりについて

(1) 「絆」をメインテーマとした市制120周年記念事業の成果について

(2) 家族・地域の絆づくりの今後の進め方について

6 スポーツ振興について

(1) 「はずむスポーツ都市宣言」について

ア 本宣言の趣旨や関連施策を次期スポーツ振興マスタープランに盛り込む考えはないか

イ 22年度事業として本宣言を踏まえたスポーツイベントを企画しているのか

(2) スポーツ施設の有効活用について

ア 県営・市営スポーツ施設の日程調整会議のあり方を工夫すべきではないか

イ 体育館のスケジュール調整が困難となっている状況を踏まえ、県立武道館を多目的スポーツ施設として利用できるよう県に要請すべきではないか

ウ (仮称)北部市民サービスセンターの体育館の運用方針について

7 市民サービスセンターについて

(1) 市民サービスセンター整備の今後のあり方について

(2) (仮称)南部市民サービスセンターの整備計画について